

科目名	臨床看護概論 I (臨床看護総論・経過別看護)				DP1、DP2、DP3 DP4、DP6	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 基礎看護 臨床看護概論	時間数	12時間	担当 教員	専任教員
科目 概要	様々な臨床看護活動の場で行われる看護活動や看護職者の役割や、対象と家族が置かれている状況、とくに、健康障害をもつ対象を理解し、疾病の経過に応じた看護の考え方を理解できる内容とした。また、地域との連携に必要な継続看護についての知識、その背景や重要性、退院調整の流れなどが学べる内容とした。						
到達 目標	1. 臨床看護活動の場や看護職者の役割と機能について理解することができる。 2. 看護の対象である患者や家族のそれぞれの経過レベル別の看護を学び、実際の援助の方法を考えることができる。 3. 継続看護の必要性や背景、退院調整について理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～6	患者と家族の理解	医療を取り巻く環境の変化、患者の理解、家族の理解				講義 演習	専任教員
	疾病の経過と患者の看護	急性期（健康危機状況にある時期）の患者の看護					
		回復期（セルフケア再獲得にある時期）・リハビリテーション期の患者の看護					
		慢性期（セルフマネジメントの時期）の患者の看護					
		終末期（緩和ケアを必要とする時期）の患者の看護、危篤時～死への看護、死後の処置					
	さまざまな場における看護	外来における看護、入退院時の看護、在宅看護、継続看護、看取りの援助					
試験					試験		
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	新看護学 8 基礎看護 [4] 臨床看護概論 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							